



4月3日(日)、お花見会の仰光寮玄関前 (駒2-1 勝屋さえ子さん撮影提供)

松桜会の活動

— その領域拡大を考える —

松桜会の活動としてはご承知の通り、毎年総会、講演会や卒業生の出演による音楽会を開催し、節目節目には記念パーティも開いております。パーティには卒業したての若い会員から90才を越える大先輩の方までご参加いただき、幅広い

世代に亘る交流も実現しています。

また、先輩の活躍、恩師の消息、母校の現況及び同期会やクラス会のお知らせなど掲載した会報を年2回発行し皆様にお送りしています。更に5年毎に全会員の名簿も刊行しています。

財団法人としての二つの目的

私達の同窓会は都立高校として数少ない法人組織になっており、正式名称は「財団法人駒場松桜会」であり、二つの目的を持つ団体です。

その一つの目的は、母校とその同窓生の発展に寄与することであり、同窓会としての本来的な目的です。二つ目は各界で活躍されているOG、OBの皆さまのご協力をいただき、社会へ貢献する事業を行なうという公益法人としての目的です。

松桜会の事業活動

この二つの目的を達成するために次の事業活動を行なうことが会則(寄付行為)で規定されています。

①同窓生中の有識者による講演・その他の開催。②生涯学習機会の提供のセミナー・講演会の開催。③音楽、美術振興のための音楽会・展覧会の開催。④都立駒場高校生徒会活動・部活動等への助成。⑤定期刊行物の発行。

「生涯学習」の機会提供

従いまして、松桜会では次なる活動としては、高齢化社会をみえて各界で活躍する同窓生を抱える松桜会ならではの「生涯学習」の機会・場の提供をどう進めるかにつき、現在企画委員会検討中です。

「生涯学習」につきましては、国も自治体もその推進につきいろいろ施策を試みており、大

学も学外に向けて「公開講座」を設けるところが多くなってきています。

県によっては公立高校を活用しての「生涯学習センター」活動を行なっている県もあります。

「生涯学習」の対象

そうした状況下で、松桜会としてどのような特徴ある「生涯学習」に寄与すべき活動が出来るかということが課題になってきます。

「生涯学習」を「学校時代だけでなく社会人になっても学び続け、主体性ある人生を送るためのものである。」と理解すれば、例えば、40代までは所属する企業集団でも学習の機会を与えますので、松桜会で考えられる対象は中高年層(50才以上)ということになるのではないのでしょうか。

企業社会に替わる社会集団

かつては地域社会と共に人は生きてきたわけですが、現代は企業社会が大勢になってきており、男女共に勤めている間は所属する集団内の人間関係が中心になって、日々の生活を送っているといえます。

しかし、一旦退職するとその集団から離脱することになり、多くの人々は家庭以外に所属する集団がなくなってしまいます。その意味で中高年層の所属する集団が必要になります。

いろいろな「生涯学習」の機会

でも老人クラブはいやだという感情もあります。もう少し知的でしかも楽しい集団はないか

ということになります。そういう集団としての「生涯学習」の場を松桜会が提供出来ないかという考え方があります。

その意味では、現在ある同窓生の有志によるコーラスグループ、古典を読む会、古代史研究会等の同好会を組織化し、より公開的にした集合体にするのも「生涯学習」の機会提供活動の一つではないかという考え方もあります。

また駒場幼稚園内に中高年対象の「アルタークラス」を併設することも一つの考え方ともいえます。既にある県の幼稚園でそうした企画がなされています。

「生涯学習」の相談所

また「生涯学習」についてのカウンセリングの出来る人材を育て、相談的役割を松桜会がすることにより、生涯学習事業活動の持続性をまず考えることが必要な活動であるという考え方があります。

どう進めるか、ご意見・ご提案を

これらの活動を進めるにあたって、初めにキチンとしたコンセプトを確立し、体系的に行う方法と、まず出来ることから始めてその活動を拡大し、途中で体系化・組織化するという方法の二つのアプローチがあります。

ぜひ、皆様のご意見・ご提案をお聞かせいただき、松桜会の活動領域拡大のために役立たせていただければ幸いです。

駒場松桜会会報

第55号

1994年9月1日発行
財団法人駒場松桜会
〒153 東京都目黒区
大塚2-18-1
都立駒場高校仰光寮
電話03-3466-7379
振替 番号
00190-8-28486

建物は今にもつぶれそうなのだけれど、そこは一瞬、ピリッとした空気が流れた。九十二年の歴史が走り出した「いび銀のお茶会」でも言ううか。

年代を越えた卒業生の胸の中を通り過ぎていく各目の思い出。



2階お茶席

数は限られ、行列して順番に二十名ずつ静々と階段を上がっていく。さすがに体重測定はなかったけれど、一階では一部屋にわたってお茶席がしらべられていた。

厳肅な気持ちで正座する。うす紅色の桜をあしらった御菓子や、三つ折りの麻布和泉装の上用。

居並ぶメンバーは第三から駒場、それとも赤やん連れの若いお母さんまで、そへてセーラー服の在校生がおうすを出して下さる。

第二アリーナ
同じ頃、小貫房枝先生の熱心な指導のもと第二アリーナではコチロンを踊って楽しめた方々もおられました。まわりで楽しんで見ている方も40、50名いらして、もう少し時間があつたらきつと踊りに加わったことでしょう。和服の方々も何人かおられて、第三の先輩のななとも優雅に踊られるように、いまさらにもその伝統の一



1階おしの方

窓外に咲き誇る桜の花に見守られての貴重なひとときだった。駒場の横河利恵子さんのご挨拶があり、下で順番を待っていた方々の方を思いやり、又静々と階下へ降りていった。

数年後、校庭はどんな姿を現すのだろうか、念しみの心と共に一抹の郷愁の念を抱きながら帰途に付いた。



小貫先生のリードでコチロンを楽しむ

端を見る思いでした。
学生時代にも
30東 吉村 花枝
二時頃から体育館でコチロンを踊るといふような様子が行ってました。
も何人か集まって音楽にあわせて、皆がニコニコ笑いがらコチロンを踊っていました。
八人組の組が四つ五つ程できて、指し下された方が一位。一生懸命説明して下さるのだが中々上手くいかない。音楽は懐かしく良く覚えてるのに一向に体がついていかなかった。
「あら、左」
「免な左」
「ちよっと、ちよっと、こつちよ」
右生のいななつた左生が、うろうろあちへ行ったりこちへ来たり、ニコニコ笑いながら踊っている。各段ごとのランドブルーム

卒業後四十年を迎えて
駒六回は、一五年前からクラス会を統合し、駒六会、と称し、ほぼ二年毎に同会を開催しているが本年は卒業後四十年を記念して四月三日総会終了後、同じ母校会議室をお借りし、同会を開いた。

恩師の先生六名と六八名の同期生が集い、また吉川校長先生にもご出席いただき、駒高の現況についてお話をうかがった。

二次会として、渋谷の高層ビル内のレストランに皆さん再度集い楽しいひとときを過ごした。

駒六会では二年後の九六年には全員が還暦を迎えることになるので記念行事を実施することを計画している。

(2日 阿部長太郎)

還暦を記念して
還暦を迎えた四期生の会が、五月二十九日(日)正午より、東京赤坂プリンスホテルで開かれ、松子、佐伯信義、高橋聖道、林三郎、松子、橋内良枝、春成孝男先生がお元氣な姿でおいでくださり、私どものために、六十歳からの人生の生き方、身の処し方、人生の先輩としてお話しくださいました。

いつも一歩先を歩かれて声をかけてくださる先生方に教える子育利に、きつと感謝を深くしました。ランチタイムの二時間、お互いに近況を語りあい、家族や健康を楽しく語り、通りの時間はあつという間に過ぎ、最後は橋内先生の苦学わらぬご指導で「鐘」ちよと合唱に興じ、散会しました。

集まりました九十余名、まだ現役バリバリの方も多く見受けました。

(6日 安居綾子)

観桜の一期一会

〜華やきに包まれた仰光寮〜

94年度の総会をお花見の会が例年より約一ヶ月早く4月3日(日)に開催されました。新校舎から続く桜並木が仰光寮、といきなりプロムナード、どうぞ桜が咲きますように、天気に恵まれまじと願って迎えたこの日、第三の方々も多く300名を超す参加者となりました。午前中はちらほらの桜が午後から次々と開き、まるでワイルドのように仰光寮を包んだ情景は駒場の丘に移築されて44年を経た歴史の重みと来歴の華やかさにふさわしいものでした。

総会では本会議室で行なわれ、その後仰光寮一階のおき、二階でお茶会、第二アリーナでコチロンとそれぞれに賑わいました。

出席の皆様には再び懐かしんでいただき、遠方の方や出席出来なかった皆様には当日の様子をおくみ取りただけたと存じます。



本校舎玄関にて受付

総会に参加して
41北 大友千恵子
この度仰光寮が閉鎖になるといふ松桜会よりのお知らせに、これが最後になるかも知れないという思いで、友人達と総会に出席いたしました。戦後開もなく麻布から駒場に移築されてからも、仰光寮が私達第二時代の焼け残った唯一の建物として、母校の思い出の唯一の場所として、誇りを保持してくださったと思います。同窓会の通信発送の為に何回も通い、又級会の会場にも使われていたこと、仰光寮から校舎に続く道は丁度縦はじめた桜と新緑でまことに美しい風景でした。校舎の二階で行われた総会にはご年配の方々が多くはじつと、お話をうかがいました。校長先生から現在の学校の報告、活動等のお話をいただき、前文部大臣の森山真弓様(41南)から想い出等のお話がございました。その後校歌の斉唱になりました。

まず玄関前で記念撮影をなさる方、かみおしの方のオマケで話のはずみで、又、床の間のあたりから部屋全体を懐かし気に見入っておられる先輩方、小さい赤やん連れの若い会員さんと第三から駒場までの長い歴史を感じしまし



総会での校歌斉唱

間、或は七年間、そして卒業後も、集まれば歌った懐かしい校歌、青春時代の思い出の沢山詰まった校歌、歌詞も自然に流れ出て、感激でございました。また駒場の校歌を清々しい気持ちで歌いました。

体育館でコチロンの講習があるというので、種々雑々、校舎の二階に昇つたり、降りたり、迷子になり、校舎を歩き回り、おかげで近代的なお教室を垣間見ることができました。

第三から駒場へと引き継がれた校風は時代を越え、優しく、たくましく、しなやかに生き続けていると思います。満ち足りた思いで帰途に着きました。

仰光寮
総会を終えて仰光寮にお越しくださる皆様を混乱なくお迎えしたいと準備はしましたものの、何分多くの方のご参加でしたので行き届かぬ点多々あつたかと存じます。

一階ではなるべく多くの方につらいていただく為に、急遽、廊下のガラス戸をとりはずし、外から腰掛けで桜を見ていただけたようになりました。これが大変に好評だったようです。

まず玄関前で記念撮影をなさる方、かみおしの方のオマケで話のはずみで、又、床の間のあたりから部屋全体を懐かし気に見入っておられる先輩方、小さい赤やん連れの若い会員さんと第三から駒場までの長い歴史を感じしまし



仰光寮2階からの玄関前

いび銀のお茶会
駒6 岡 道子
桜の花つてこんなにもきれいだったのだからと思わず息をのむほどに美しく咲き誇った仰光寮前の桜、その中で仰光寮お別れのお茶会は開かれた。四月三日、日曜日。長い年月を経た仰光寮は傷みも大分ひとく、二階に上られる人



昭和30年代

恩師を訪ねる——第七回——

国語科 末松三郎先生の巻

今回は、野高校を経て24年間駒場に在職なさった末松先生にご登場いただいた。古典のすばらしさを説かれる名調子に心酔する生

た。戦後の大学は荒れていましたから、基礎学を固めないと論文はかけないなあと思い、教職の傍ら勉強してというつもりでしたね。

「戦いの日」という第三高女にまつわる思い出を著作にまとめられた小林恒子(24歳)さんは、その後も資料としての思い出を

第三高女の追記

先手前二子三子

が、あつて疎開先の信州伊那町から上京した私は、その日六本木へ行くのに、山手線の渋谷駅から新

同人誌に表れた一文が、その最終回にあらわれた。文が寄せられたというのは、空襲で焼失した第三の校舎の生きた記憶を發表する場が失われた。事務局へ送られたことから、次号で特集として取り上げる予定の、麻布の第三高女における最後の卒業式の違いに出に先立、序章ともいえる。第35号に特集した仰光焼失は、第七十六年の歳月を刻み続けたが、その一方ででは校舎の焼失という第三の歴史を大きく変えてしまった事実を思ふ。筆者はお説いただけだと認める。筆者は、同年生であると共に、第2で教えられたとい

女達の母校、東京府立第三高女であった。その正門に地球儀があつた麻布ヶ丘の歴史ある学校は、一夜の空襲で跡形も無く焼けた。

第三高女の焼跡にて

ーその1ー

小林 恒子 24歳

失せてしまった。
 昭和20年5月24日、既に敗戦の形相は至る所隠しよくもなかった。創立以来43年の最期でもあった。私はその焼け跡に立ち母校を拜つたのは、戦後二年の盛夏であった。早稲一二年（終戦記念日）

青山、蒲團、霞町を通つて行つた。その懐かしい沿線の街並みを見た。その懐かしい方角に、私は一人黙然と心意を込めて暗喩を呑んだ。六本木で降り、芋洗を呑んだ。無言の照りの跡、人影一つ、無い母屋の焼け跡、入つていった。大凡は二三の教士からの手紙で死の如き無言の空間に咽下されて居残つた地獄、白黒の煙地獄に残つて居る。その無極極まる荒蕪は、背筋の骨まで冷めていた。黒然と佇んでくむのその時不意に。乾いた土がくいに、その光が髪を漂った。或る音響の光が髪を

ありますが、それ以外は精一杯自由に生活を楽しんでいるというのが現状です。

◆今後は如何でございましょう

我が欲び、我が美を追求してきた歲月を重ねて今、戦を辞せてそれとすから、

一は好きなことを好きなように、勉強は好きなことを好きなように、勉強したい。漢和辞典や古語辞典を繰返し読み、字体を溯るこの名譽の訓み方から漢音、吳音に入り、

以上、文学、音楽、自然の中の美を追求してやまない末松先生の魅力の一端なりとお伝えできたら幸いです。

河山に一年、隣友に六年いまして、昨年三月文筆を辞めたので、通算第四五回の実生活でした。何物にも代え難い喜びを以て退くのは、本当に感激すべき幸福だと最後の授業の時思いました。退職後の生活は、大抵、河山、隣友、文筆の三つに反映しますし、気分も晴

退いてから深まったようです。古語の整理も面白く、擬音語が語源に関わるあり方も興味が尽きません。

すはらしさは今も忘れられませんね。生徒達との心のふれ合いの喜びは、教員生活のすべてに亘るものと思います。

いというのは寂しいことです。目下三つのことを実行しています。第一は歩くこと、代々木公園で約二キロで樹木の中豊かな自然

へと入り込んでいきました。通音の語は元来同義で、字により使い分けをしている、そこで元来の字へととどまるところを知らずノ

[進路]

最近5ヵ年の大学合格状

[illegible]

收 支 報 告

収入の部

	'93年度予算	'93年度決算	増・減	'94年度予算
基本財産運用収入				
基本財産利息収入	1, 100, 000	740, 113	△359, 887	700, 000
事業収入				
音楽会収入	400, 000	793, 257	393, 257	500, 000
学費収入	7, 706, 000	7, 312, 514	△393, 486	8, 430, 000
新正会費収入	6, 500, 000	6, 100, 514	△399, 486	6, 500, 000
入会費収入	1, 206, 000	1, 212, 000	6, 000	1, 930, 000
積立財産利息収入	400, 000	292, 123	△107, 877	300, 000
雑収入	250, 000	476, 666	226, 666	200, 000
寄付金	100, 000	101, 100	1, 100	100, 000
運用財産利息収入	150, 000	126, 016	△23, 984	50, 000
雑収入	—	249, 550	249, 550	50, 000
期末未払金	—	168, 756	168, 756	—
前期受金	—	4, 582, 000	4, 582, 000	—
当期収入合計	9, 856, 000	14, 365, 429	4, 509, 429	10, 130, 000
前期繰越収支金計	700, 000	1, 828, 440	1, 128, 440	700, 000
収入合計	10, 556, 000	16, 193, 869	5, 637, 869	10, 830, 000

支出の部

	'93年度予算	'93年度決算	増・減	'94年度予算
事業費	6, 700, 000	6, 508, 033	△191, 967	6, 900, 000
会報編集費	4, 100, 000	4, 257, 625	△157, 625	4, 600, 000
印刷製本費	1, 700, 000	1, 332, 450	△367, 550	1, 400, 000
通信費	2, 400, 000	2, 925, 175	525, 175	3, 000, 000
名簿管理費	1, 800, 000	1, 446, 686	△353, 314	1, 800, 000
助成金	200, 000	200, 000	0	200, 000
駒場高生徒会	200, 000	200, 000	0	200, 000
母校校舎竣工記念品	500, 000	538, 066	38, 066	—
雑費	100, 000	65, 656	△34, 344	300, 000
管理費	1, 960, 000	2, 079, 852	119, 852	2, 850, 000
諸手当	700, 000	605, 000	△95, 000	850, 000
会議費	300, 000	222, 729	△77, 271	400, 000
備品費	70, 000	82, 503	12, 503	500, 000
消耗品費	60, 000	154, 851	94, 851	80, 000
通信費	150, 000	144, 699	△5, 301	200, 000
旅費交通費	400, 000	532, 040	132, 040	500, 000
公租公課	80, 000	59, 380	△20, 620	20, 000
雑費	200, 000	278, 650	78, 650	300, 000
積立預金支出	1, 700, 000	1, 825, 390	125, 390	950, 000
基本財産積立金	1, 150, 000	1, 330, 113	180, 113	700, 000
会館建設等積立金	300, 000	295, 260	△4, 740	100, 000
奨学積立金	150, 000	145, 898	△4, 102	50, 000
名簿発行積立金	100, 000	54, 119	△45, 881	100, 000
子備費	196, 000	0	△196, 000	330, 000
当期支出合計	10, 556, 000	10, 413, 275	△142, 725	10, 830, 000
当期収出差額		5, 780, 594		

諸証拠書類と帳簿照合の結果、収支とも正確に執行されていることを証明します。

1994年6月6日

望

崎 玲

'94年度事業計画

1. 同窓会総会開催 お花見会ー
4月3日(日)母校2階会議室・御光寮
2. 生徒会への助成 総会にて生徒会へ贈呈
3. 母校学園祭 9月23日(金)秋分の日・24日(土)
休館所開設
4. 音楽会 10月15日(土)こまばエミナース
ー歌曲へのいざないー羽島 栄(駒6)、
大月 早苗(駒8)、鈴木 真昭(駒15)
5. 松校会会報発行(55, 56号)
1994年9月及び1995年3月発行
6. コロコンを贈る会 毎月第3火曜日2時より
母校第二アリーナ2F体育講義室

'93年度事業報告

1. 同窓会総会開会 5月16日(日) 新校舎見学
講演「我が道—バレット・ソロナへの道」
田辺 陽子(第36)
2. 生徒会への助成 総会にて生徒会へ贈呈
3. 本校で竣工記念 岡本 菊寿子(22回)日本画
の線画展、校庭の碑を加工したテーブルと柱
子の寄贈
4. 母校学園祭 ケーキと(2・6日)お休み所開設、
展示、9月5日と手作り小物販売
5. 音楽会 10月23日(土)上はさみエミナス、
ピアノとヴァイオリンのタペ
日高 毅(第5)、水本 茂三(第5)、山口 佳代
6. 松元会報発表(53, 54号)
7. コミュニを創る会 第三火曜12時より
8. 本校で第二期21F学生体感遠遊会

支部のコーナー

松桜会会員は現在二万名をこえ、国内はもとより世界各地に在住しています。

支部は大正9年の発足以来七十年を越えた関西支部をはじめ、平成4年に発足した群馬支部まで

一仙台

大河原より船岡までの「J」東北線でもさういふこの時期徐行運転する素晴らしい白石川村の桜並木です。お花見では、船岡の村井様で(34西)ですっかり御馳走様になり帰仙なさったとのこと。

6月13日市内ホテル多喜本にて同窓会。前支部長大脇様16中にて欠席は残念でしたが、珍しく鈴木寿先生は「照子興禄(駒53)」とこ

一、山

よすか。

5月1日、春の例会、6名に1名ずつ出席で、11時30分より春の引き合、10名ご出席で、3分した。20名近、第三の方とも高し。

この時、先生時代になりました。授業や先生の学生時代に、貴重な体験と先生が咲きます。秋には又お元気でと再会を約し、楽しいひとときに感謝をしながら解散いたしました。

出席の方は、沢田健三様、兄主、森棟様(35中)、岡様(37中)、五十嵐様(39東)、榎實様(39西)、浅野様(39北)、拓野様(高専科22西)、中嶋様(24中)など、います。(41北 片山記)

更に自主的なコンサートから松
桜会の主催への流れが出来、プロ
デュースから一切を運営する試み
もなされました。在学時から令名

の高かった方達、長岡純子さん、そして日秋の大人月苗さん、同じパターナリーにならないような工夫を凝らしたコンソートの形が、こまばエミナースを舞台として定着させてきました。に見受けられます。会報を通して芸術家への呼びかけを重ね、お申し出もいただくようになり、そのので、この形を更に推し進めていくことも一つの案でしょう。

増加していく新会員も含め、世代の広がりが増して、どの年代にも通くと欲張ることは無理があるかもしれませんが、同窓会らしい催しを今後も模索したいことが発展につながるのではないのでしょうか。会員の皆様方の積極的なご意見をお待ちしております。

いずれにせよ、会場の関係等でもかなり早くての準備、日程の組み方も必要ですので、PRの場としての会報を有効に使っていただきたいと思っています。

同窓の方々ならはの顔合わせが、今秋実現する訳ですが、人的広が

二十一年近い昔、駒場高校視聴覚室で、音楽の道に進む志を胸に29回生が集まって勉強のためのコンサートを開きました。その時のメンバーを中心に、数年後一八九一年結成したに、グレンパフォーマー（GPM）です。以来毎年一回、都内のあるところでジョイントコンサートを行っています。現在メンバーは他の学年にも拡大し、ヴァイオリン、トロンボーン、ファゴット、ピアノ等十三名です。今年は十月十二日、上野音楽堂に於てロシアの音楽をテーマに演奏会を予定しています。

因みにCOMOの名は「company仲間」の意味を含めて、まばの語呂にあわせたものです。十周年に合った来年は、松坂会主催として頂くことになり、一同たへんお楽しみ思っております。（小石 淳子記）

普通科から音楽の道を志した友達グループならではの強い結束力が、きっとすばらしいハートモニを奏でることでしょう。詳しくメンバーのご紹介と曲目などについては、次号でお知らせしたいと思います。

以上、事業の一つとしての文化的な催しについておぼろげにみてきましたが、やがて迎える〇〇周年にむけてより広がりを持った視点で「同窓会」が「を」を考え、深めたいために組織としての形も整えていく活動が望ましいのではないのでしょうか。企画図、運営面でのフレキシブルなエネルギーをお寄せくださいますよう、多数のご参加をお待ちしております。

同窓生の交流の後として、また文化芸術への功徳の場として、わざわざ、様々な催しを紹介してききましたが、その流れを簡単にふり返ってみます、その演劇鑑賞という形がかなり長く続いていました。三越劇場などがその一例で、同窓の語らうの場と出合いを演出してきただけに思われます。

しかし、駒場卒が多くなるにつれ、会員の好みも多様化し、ジャンルとしても幅広いものになってきた現在、どのような形があるのか、

◆今回は出演者による対談がありませんので、コンサート終演後エミナース・スターラウンジにての囲む会(会費1000円)でごゆっくり御馳談下さいませ。

松原さん、クラリネットが近づいて
来た。松原はクラリネットの音の
世界に、ぜひお出かせたいとい
う。クラリネットの独奏も予定さ
れていきます。秋の夕べ、美しい歌
曲の世界に、ぜひお出かけ下さい。

ペルーのfolklore
「クシヤクタ」コンサート

9月14日(水)19時開演
新報文化センター料金 2000円・4000円・3000円
の3つの割引
申し込み 松原商事務局
主催
代表 日本を結ぶ会
部長 郷 文子(会長)
郷さんは戦後のララ物資のお礼として
在国務しているペルーへ、医薬品、医療器
の寄付、視覚障害者のための指圧技術指導
派遣などのボランティア活動をしてます
「クシャクシャ」の招標は、まさにその活動の一環
として行なわれています。

村上雅英 ソプラノリサイタル
(第19回) オルガン:小林 英之
「Praying,Playing」
声が乳白色の光の玉となって
弧を描いて飛んでいくの見える
バロック他

10月3日(月)午後7時
石橋メモリアルホール(上野学園内)
全自由席¥3800、前売¥3500

お問い合わせ 03-3352-0425

「ウイン・ウィーが夢のまち」コンサートツアー
 パス・パリット・門屋 留樹(第16)
 コアス： 久郷 - 之江・河原 忠之
 ビューズ： メックス

(クラシック音楽からミュージカル・オペラまで)

10月11日(火)	宇部市渡辺親史記念会館	宇部市楽協会
12日(水)	福岡銀行本店ホール	0836-34-4794
12日(水)	札幌サンプラザ	札幌音楽文化会館
11月 4日(金)	札幌サンプラザ	札幌音楽文化会館
5日(土)	旭川市大雪ウキスタルホール	0166-24-3111
11月22日(火)	新潟市音楽文化会館	025-276-1106
23日(水)	糸魚川市公会堂	025-814-1411
23日(水)	糸魚川市公会堂	025-814-1411
12月22日(木)	川崎市教育文化会館	0225-59-5000
		OFFICE MECKITS

平成六年度教職員移動

退職

清水哲郎先生
東大和南高嘱託へ
数学 田辺仁士先生

転出

数学 豊多摩高嘱託へ
川合勝雄先生
八王子東高へ

転入

国語 木下庄市先生
数学 島田順先生
江北高より
保体 太田代美保先生
三宅高より
数学 (嘱託員) 山縣文雄先生
南多摩高より

母校の催し

公開講座水泳教室

この度母校では公開講座として新装なったプールにて6月28日より7月8日まで水泳教室が開催された。

学校説明会

来年度受験生のための駒場高校説明会を記のように行ないました。
10月 8日(土) 午後2時
11月 5日(土) 午後2時
会場 本校体育館

松桜会より皆様へ

振替口座番号

変更のお知らせ

郵政省が振替口座について新処理システム導入のため、平成6年5月より郵便振替番号がかわりました。駒場松桜会の口座番号は

00190018128486

です。又、払込書様式も変わります。平成七年十二月末日まで猶予期間がありますので、古い払込書はまだ使用できます。お手持ちのものをご利用ください。

松桜会事務

にお力を

母校3号館の改築がすすみますと、駒場松桜会は3号館の中に事務室が移ることになります。これと機会に事務の機械化を図りたいと思っております。

つきましては、若い方に松桜会のお手伝いをしていただき、百周年に向けて企画、運営等にお力を拝借したいと思っております。

毎週月曜日より四時までお手伝い可能な方は是非ご連絡下さい。

会員の著作より

第14回日本文芸大賞

旅行エッセイ賞に輝く

服飾デザイナーとして又大学講師としても活躍の渋谷祐子さん(駒3・6)が、その著作「花びら一枚田に舞う」で、第14回日本文芸大賞旅行エッセイ賞を受賞された。服飾に関する著作は多く、その活動も幅広い。4月6日授賞式が、池袋のサンシャイン・プレイスホテルで行なわれたとのことである。

学園祭のお知らせ

母校の学園祭が9月23、24の両日間催されます。松桜会も例年通り「お休み処」を設営いたします。又、海外ではたくさん同窓生の分布図の展示をする予定です。在校生の活躍もご覧いただきたくお越しをお待ちしております。

9月23日 9時～4時
24日 9時～3時30分

紛らわしい他社の

名簿刊行にご注意を

前号でもお知らせしましたが、駒同窓会名簿刊行会の名称で都立駒場高校職業別同窓会名簿の輪旋の葉書が会員宅へ送られてきていますが、当会とは一切関係ありません。

植村美千子さん(駒15・6)著
満州国に生まれて

1美千子一歳の終戦一私の生まれ故郷は、幻の国、満州国。歴史上一度は確かに存在し、今はなき満州国とは一体何だったのか……。

一歳の時、満州奥地で終戦を迎え苦難の引き揚げを体験した著者が若い世代に語り伝える、侵略戦争の罪深き、今なお続く中国残留婦人の苦難等々、平和への問題提起。
勸草書房四六版一九五七円

コチロンを踊る会

3面4面にもありますが、コチロンを踊る会は、毎月第三火曜日2時から4時まで、第二アリーナ2階の体育講義室で行なわれています。往時をふりかえりながら、コチロンの歴史を語り合う機会として、同窓生の親睦のための事業の一つとして定着しました。生涯学習としても考えられる私達の大切な財産を継承し、更により楽しいものへと展開させていけたらと願っています。

思考と行動の自主性の育成

学校法人

駒場幼稚園

一都立駒場高等学校同窓会により昭和30年設立一

年長組(5才児)

年中組(4才児)

年少組(3才児)

入園随時

井の頭線駒場東大前下車5分バス松見坂上下車2分

目黒区大橋2-18-71 ☎3466-2959

仰光寮で絵の個展

一円破顔 本名山田順久さんは、五月一日(日)、仰光寮で懐かしで、駒2310のクラス会(二階)と兼ねて、一階で一日展を開きました。バスターアクリル画法創始記念の催しでしたが、左のようにのびやかなタッチが明るい広がりを感じさせるものでした。



一円破顔 早春賦

▽編集後記△

お花見会の晴れの舞台に備え、家ではしたこともない丁度さで役員有志が心をこめて磨きあげた仰光寮に、かつて第三の方々がされたであろうお掃除もしのばれました。日程も催事も初めての試みでしたが、それだけに数々の心配りが一つになって、ご出席の方々に「ご好評の裡に無事終了しました。今後また折にふれた催しを柔軟に考え、幅広い会員の皆さまの要望に応えられますようつとめたいと思います。振替口座と共に払込用紙の様式も変わりましたが、様々な形で御意見等お寄せ下さい。駒場松桜会のファックスは電話と同じ番号ですが、送信前に御一報下さい。会員のマルチメディアとしての機能も願っております。(平山記)